

お知らせ > 不正アクセス対策について > 公開中◎日経メディカル50周年記念サイト > パスワード再設定に関する「よくある質問」

医師TOP > REPORT > 日本集中治療医学会、U35プロジェクト始動

REPORT

連載をフォロー

TOPIC◎50周年迎え新世代の育成に本腰

# 日本集中治療医学会、U35プロジェクト始動

キャッチフレーズは「新時代のIntensivistはきみだ！」

2023/03/02

聞き手：三和 護（編集委員）

救急医療・集中治療

日本集中治療医学会 U35プロジェクト

印刷

シェアする 0

0

ツイート

日本集中治療医学会は今年、50周年を迎える。その記念企画が目白押しの第50回学術集会（2023年3月2～4日、京都市）では、もう1つ大きなプロジェクトが発進する。学会の未来を託す若手の活動を支援するための「U35プロジェクト」だ。学会理事長の西田修氏とプロジェクト幹部に、その狙いと活動内容について聞いた（本文敬称略）。

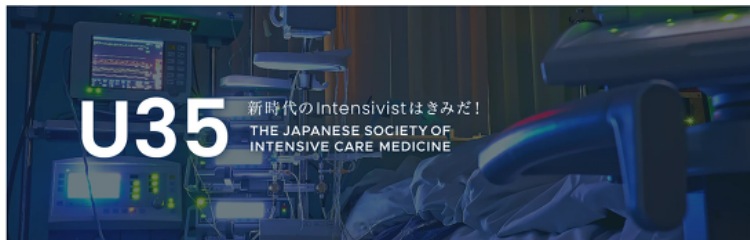


写真1 U35プロジェクトのメッセージ「新時代のIntensivistはきみだ！」

—— 理事長の西田修先生にうかがいます。学会としてのU35プロジェクトの狙いをお話してください。

**西田** 「学会の未来を託せる若手を育成すること」が目的です。若手発掘タスクフォース（表1）の先生方と議論を重ね、新しいプロジェクトとして具体化しました。4月からは学会の委員会に格上げして、学会を挙げて支援する姿勢を鮮明にしたいと思っています。50周年を迎えたのは喜ばしいことですが、私をはじめ、これまで学会を牽引してきたメンバーの多くが学会活動から退くときがまた一步、近づいたということでもあります。若手を育成することは、学会を発展させ、その未来を切り拓くために欠かせないのです。

プロジェクトの方向性については、若手発掘タスクフォースの中田孝明先生と竹内宗之先生にお尋ねくだ



日本集中治療医学会 西田修氏

「日経ヘルスケア」主催

第2期『病院経営プロフェッショナル育成塾』2023年6月開講！（定員40名）先着順申込受付開始しました

開催期間：2023年6月～2024年3月（全10回）

循環器病研究センター）に説明してもらいます。

表1 若手発掘タスクフォースのメンバー

中田孝明氏（千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学教授）

竹内宗之氏（大阪母子医療センター集中治療科主任部長）

江木盛時氏（京都大学大学院医学研究科侵襲反応制御医学講座・麻酔科学分野教授）

志馬伸朗氏（広島大学大学院医系科学研究科救急集中治療医学教授、第50回大会会長）

西田修氏（藤田医科大学麻酔・侵襲制御医学講座主任教授、学会理事長）

## 日本の集中治療は「大きな岐路に立たされている」

—— なぜ、この時期のスタートだったのですか。

**西田** 私が日本集中治療医学会の第5代理事長を拝命したのが2020年3月です。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の大きな渦に巻き込まれて、社会も学会も混乱している中で理事長就任でした。その中で、COVID-19の対応に尽力している学会会員の活躍は、我が国の医療における本学会の位置づけを国民に伝えることができる重要な機会となると確信しました。それを踏まえて、理事長就任時に以下のメッセージを発信しました。

「新専門医制度が本格的にスタートし、学会のあり方が問われる時代になって来ております。専門医機構の枠組みに残るために重要なことは、学会が社会・国民に対して如何に貢献できるかを明確に打ち出すことであると考えます。すなわち、集中治療専門医と専門教育を受けたメディカルスタッフで構成される多職種チームで行う『集中治療の存在意義』を明確にする必要があります。また、そもそも会員に対するメリットを明確にしなければ、学会の発展はありません。多職種からなる本学会では、会員からの生の意見を聴きながら多角的に進める必要があります。

本学会は、今、『大きな岐路に立たされている』という認識を持ち、『ビジョンを明確』にしなければ、何に向かってどのように改革すべきかの判断を誤ることになります。

「開かれた学会を目指し、社会と会員に対する学会の存在意義を明確に！」をテーマに掲げ、強い信念を持って理事長としての責務を果たしたいと思います。

—— 「大きな岐路に立たされている」という認識に至ったのは、なぜですか。

**西田** 学会会員の皆さんは、集中治療の存在意義を十分に理解して活動しています。しかし、一步、学会の外に出ると、これまでは、国民の皆様集中治療の意義を正しく理解していただいているかという、心もとなかったのです。また、国や地方自治体における医療行政の関係者の皆様でさえ、集中治療のことを理解していただけているとはいえない現実もありました。そんな中でCOVID-19対応が始まり、日本の集中治療に注目が集まったのです。これを機に、社会と会員に対する学会の存在意義を明確にすることは何よりも重要だと考えました。明確なビジョンを立てて改革を進めることで国民の皆様の理解を得られるのか、それともCOVID-19の鎮静化とともにまた元に戻ってしまうのか、大きな岐路に立っているのです。

—— 先生は、特に重要と考える12項目の課題を掲げています（表2）

表2 特に重要と考える12項目

1. 透明性が高く開かれた学会の構築

「日経ヘルスケア」主催

第2期『病院経営プロフェッショナル育成塾』2023年6月開講！（定員40名）先着順申込受付開始しました

開催期間：2023年6月～2024年3月（全10回）

3. 女医云々のツラツラ
4. 多職種連携と組織のあり方の再検討
5. 会員サービスの充実とホームページの充実
6. 国際的な学術研究の推進のためのプラットフォームの構築
7. 長期予後の質改善を見据えた明日の診療のための取り組み
8. 学術集会の改革
9. 関連他学会との連携
10. 国際交流とグローバル化
11. 事務局機能の強化
12. 財務管理と予算の適正化ならびに大型プロジェクトの取り組み

**西田** 学会を取り巻く課題は山積みです。その中でも特に改革に注力すべき課題として、この12項目を挙げています。理事長に就任してから4年目に入りますが、学会会員の皆さんのご尽力のもとで、それぞれの改革は着実に進展しています。U35プロジェクトも、こうした改革の一環として議論してきたものです。

一方で、学会の外では、集中治療に対する理解が進んできていると実感しています。例えば、昨年10月には、医師届出票の診療科の中に「集中治療科」が新設されました。我々が求めてきたものが1つ実現しました。また、我々は、厚生労働省の中に集中治療領域の行政を総括する「集中治療医療対策室」の設置を求めています。「命の最後の砦」としての集中治療医療提供体制を充実させるためにも、厚労省の中に「集中治療医療対策室」が必須なのです。まだ実現していませんが、「集中治療科」の新設はその第一歩になると期待しています。

## U35プロジェクトが目指すもの

—— 若手発掘タスクフォースの竹内宗之先生にうかがいます。U35プロジェクトの方向性について教えてください。

**竹内** 「独創的で柔軟な発想を持って、創造的で革新的な活動を行う」ことを目指します。その上で、（1）若手のネットワーク構築を促進する、（2）次世代リーダーを育成する、（3）若手主体による臨床、研究、教育企画を実践する——の3つの目標を掲げています。

U35の35というのは35歳以下のことで、その年齢にあたる医師、看護師、薬剤師、臨床工学技士、理学療法士など多職種の学会員で構成することがU35プロジェクトの中核です。西田先生のメッセージにもありましたが、「集中治療の存在意義」は集中治療専門医と専門教育を受けたメディカルスタッフで構成される多職種チームで行うことにあります。U35プロジェクトが多職種の学会員で構成するのは、必然なのです。

—— なぜ35歳だったのですか。

**竹内** 医師もその他の職種の人でも、集中治療業務を一通り経験する年齢だからです。U35プロジェクトを機に、「独創的で柔軟な発想を持って、創造的で革新的な活動を行う」多くの人材が出てくることを期待しています。

—— 中田孝明先生にうかがいます。U35プロジェクトとして、これまでどのような活動をしてきたのですか。

**中田** まずは若手の声を聞きたいと考え、昨年8月に「若手の声募集！」を実施しました。日本集中治療医学会として幅広く若手学会員からの意見を取り入れ、積極的に学会員連活動に取り組む人を発掘するためです。集中治療は、日々、変化し、集中治療は現在の集中治療とは異なるのは否めません。ですから若い世代が集中治療を創造していくことは間違いないことです。

—— 具体的には、どのような声が集まったのですか。

「日経ヘルスケア」主催  
**第2期『病院経営プロフェッショナル育成塾』2023年6月開講！（定員40名）先着順申込受付開始しました**  
 開催期間：2023年6月～2024年3月（全10回）

**中田** 日本集中治療医学会会員で、応募時点の年齢が35歳以下の人からの提案を募りました。募集したテーマは、（1）学会をプラットフォームとした若手向けイベントの提案、（2）第50回日本集中治療医学会学術集会：若手セッション（聞け若鮎の声）企画の提案、（3）その他、日本集中治療医学会において私ができることのアピール——です。個々の声はここでは紹介できませんが、ここで集まった意見の多くは、のちほど野田先生に説明してもらった第50回学術大会のプログラムに反映されています。

—— 若手発掘タスクフォースの先生方は、今後もU35プロジェクトに関わっていくのですか。

**中田** 活動は、できるだけ若手の自主性に任せたいと思っています。我々の役割は、その活動を支えることです。

## 「若手の交流の機会」を第一に

—— 最後にU35代表の野田浩太郎先生にお聞きします。第50回学術集会でのプログラム「U35企画」について教えてください。

**野田** U35企画の「新時代のIntensivistはきみだ！」は、2023年3月4日（土）14：30～17：30の日程で、国立京都国際会館での現地開催となります。

3つのセッションを予定しています。1つ目は、「研究しくじり先生 ～この失敗はするな～」です。研究の実績を積んでいる5人が登壇し、自らの「失敗」を語り参加者と共有します。2つ目は、「キャリア形成 『集中治療 × X = 私』 君のXは。」です。「集中治療 × 臨床研究留学」や「集中治療 × 女性キャリア形成」、「集中治療 × 緩和ケア」や「集中治療 × 働き方改革」などのテーマで、11人が発表します。3つ目は、「聞いとくれやす 若鮎の声」です。こちらは、これまでの実施したアンケートなどをもとに構成したものです。

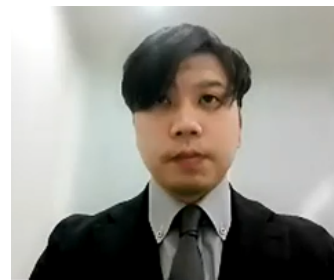
いずれのセッションも、医師だけでなく、看護師や薬剤師、臨床工学技士や理学療法士など多職種の人が登壇します。プログラムの詳細は、[こちら](#)をご覧くださいと思います。

—— さきほど中田先生から、35歳以下の学会員に提案をしてもらったとお話いただきました。U35企画には、どのような声が反映されたのでしょうか。

**野田** 声としては、若手の交流の機会を望むものがとても多かったです。そのため、各セッションは交流の機会を意識したものになりました。多くの人に現地に来てもらい、セッション参加を機に様々な人との交流の場を持ってもらえたらと願っています。

—— 野田先生は、U35代表を務めています。タスクフォースの先生方からの指名だったのですか。

**野田** 自ら手を挙げました。以前から、新しいことに取り組むのは好きでしたし、日本集中治療医学会の今後について若手メンバーと話し合うのは意義深いと思ったからです。先輩の先生方の期待にどこまで応えられるかは分かりませんが、U35プロジェクトのメンバーと協力しながら精一杯、取り組みたいと思います。



U35代表の野田浩太郎氏

## この記事を読んでいる人におすすめ

シリーズ◎ウオッチ 診療報酬改定

高度かつ専門的な急性期入院を評価する「急性期充実体制加算」を新設

2022/01/27

シリーズ◎ウオッチ 診療報酬改定

より充実した急性期入院を担う病院を評価へ

2021/12/02

NEWS

COVID-19患者受け入れ病院、人材確保と一般医療との両立が課題に

2021/10/18

綴る救急医～20代の私が残したかったこと

理想のICUスクラブを求めて…

2023/03/01

医師・医学生限定コンテンツ

記者の眼

小児コロナ患者に、急性脳炎のリスク浮上

2022/09/21

人気コンテンツ

未視聴



便秘症状に対するグーフイスの影響～胆汁酸プロファイルがどのように変化するのか～

視聴完了320Exp

持田製薬/EAファーマ



一般流通に伴うラゲブリオ(R)処方時の変更点～投与対象の考え方を中心に

視聴完了320Exp

MSD

未視聴



## eディテール



人気コンテンツ

未視聴



便秘症状に対するグーフイスの影響～胆汁酸プロファイルがどのように変化するのか～

視聴完了320Exp

持田製薬/EAファーマ



一般流通に伴うラゲブリオ(R)処方時の変更点～投与対象の考え方を中心に

視聴完了320Exp

MSD

未視聴

> 一覧を見る

## Web講演会



未申込

「日経ヘルスケア」主催

第2期『病院経営プロフェッショナル育成塾』2023年6月開講！（定員40名）先着順申込受付開始しました

開催期間：2023年6月～2024年3月（全10回）



rejin DFR-41 rammy web  
Seminar「2型糖尿病の薬物療法  
指針に関する話題/高齢者への糖  
尿病マネジメント」

視聴完了320Exp

帝人ファーマ/帝人ヘルスケア

未申込



3月7日(火)19:00~  
高齢者糖尿病診療アップデート  
2023

視聴完了320Exp

田辺三菱製薬

> 一覧を見る

## 調査

未回答



医師を目指す受験生に関するアンケートにご協力ください。

10pt進呈

未回答



一番よく使うHIF-PH阻害薬はどれですか？「NMO処方サーベイ」にご協力ください

10pt進呈

> 一覧を見る

## CMEオンデマンド

未視聴



頭痛の診療ガイドライン2021  
「二次性頭痛①」～脳静脈血栓  
症、RCVSによる頭痛の病態、診  
断・治療を解説する

日本イーライリリー

> 一覧を見る

## 医師 人気記事ランキング 🏆

昨日	週間	月間
----	----	----

- 長尾大志の「わかりやすい 胸部X線写真読影 アドバンス」  
クイズ2●この陰影はどこの葉・区域に存在する？（…）
- 駒村和雄の「健康寿命で行こう」  
「SGLT2阻害薬は使うな」とまでは言わないが
- シリーズ◎医療制度改正が見据える医療の未来  
病院再編が進み「淘汰される」時代に
- 吉松由貴の「誤嚥性肺炎、診療の知恵袋」  
誤嚥性肺炎の回復期に求められる判断

「日経ヘルスケア」主催  
第2期『病院経営プロフェッショナル育成塾』2023年6月開講！（定員40名）先着順申込受付開始しました  
開催期間：2023年6月～2024年3月（全10回）



感染臓器「たとえば」で原因微生物を考える

> 一覧を見る

総合記事ランキングを見る

## 日経メディカルキャリア

ご登録診療科目の求人 Pick Up

常勤 NEW!

静岡県静岡市葵区 年収：2000万～  
【静岡市／訪問診療】週4日勤務から 時短勤務等勤務条件を柔軟に対応致します。

クリニック 1800万以上

常勤 NEW!

愛知県名古屋千種区 年収：1400万～2000万  
【千種区】訪問診療立ち上げ★科目不問！経験者歓迎／駅ちかCL／週4日・時短相談可

クリニック 当直なし

常勤 NEW!

静岡県浜松市中区 年収：2300万～3200万  
【浜松市／クリニック】訪問診療／分院長候補／臨床経験10年・週5日勤務で年収2200万～＋院長手当…

クリニック 1800万以上

非常勤

三重県伊賀市 給与：95000円／一回  
【メディカル・アソシエイツ】伊賀市、ケアミックス病院、火、金曜日の外来、救急対応、内科系求人です！

郵送可 可

スカウトメール ? 未設定

最初の1歩はおまかせ問い合わせから



医師転職支援会社・最大4社から  
先生の希望にあった求人をご提案！

日経メディカルをフォローする



へ ページトップ

> 総合TOP

> 医師TOP

> 若手医師・医学生TOP

> 看護師TOP

> 薬剤師TOP

> サービス一覧

> 書籍・セミナー

> 論文支援

> 英文校正

> 翻訳

> 学会ポスター

> 1日1問医師国家試験

> MReach

> Lounge

> 日経メディカル

> コンテンツについて

「日経ヘルスケア」主催

第2期『病院経営プロフェッショナル育成塾』2023年6月開講！（定員40名）先着順申込受付開始しました

開催期間：2023年6月～2024年3月（全10回）

関連サイト

- [日経メディカルキャリア](#)
- [日経メディカル開業サポート](#)
- [日経メディカル経営サポート](#)
- [日経メディカル病院経営](#)
- [日経DIキャリア](#)
- [日経メディカルプロキャリア](#)
- [日経メディカルAナーシングキャリア](#)
- [日経BP SHOP](#)
- [日経メディカルワークス](#)
- [日経バイオテックオンライン](#)
- [日経BPのメディア一覧](#)
- [日経BPイベント&セミナー](#)

[会社案内](#) | [取材・報道・出版憲章](#) | [個人情報について](#) | [データ利用](#) | [著作権について](#) | [広告ガイド](#)

表示切替：スマホ版で見る

© 2006-2023 Nikkei Business Publications, Inc. All Rights Reserved.

「日経ヘルスケア」主催

**第2期『病院経営プロフェッショナル育成塾』2023年6月開講！（定員40名）先着順申込受付開始しました**

開催期間：2023年6月～2024年3月（全10回）